

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 29 年 7 月 6 日 (2017.7.6)

【公表番号】特表 2016-506504 (P2016-506504A)
 【公表日】平成 28 年 3 月 3 日 (2016.3.3)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-013
 【出願番号】特願 2015-546110 (P2015-546110)
 【国際特許分類】

G 0 1 T 1/24 (2006.01)

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

【F I】

G 0 1 T 1/24

A 6 1 B 6/03 3 2 0 R

A 6 1 B 6/03 3 7 3

【手続補正書】
 【提出日】平成 29 年 5 月 24 日 (2017.5.24)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

X 線画像情報の画像補正方法であって、

X 線検出器画素要素の読み出し情報を受け取るステップであって、前記読み出し情報は、永久電流を含む光電流を生成する、直接変換 X 線材料ボリュームに衝突する X 線に依存し、前記読み出し情報は、前記光電流により決定される光子のエネルギーを含む、ステップと、

1 マイクロ秒未満で生じる永久電流のベースラインシフトに対して、前記決定される光子のエネルギーを補正するステップとを有する、方法。

【請求項 2】

決定される光子エネルギーを補正するステップは、ルックアップテーブルを用いるステップを含み、前記ルックアップテーブルは、X 線束と X 線平均エネルギーとを含む群のうち少なくとも 1 つの関数に基づいて直接変換 X 線材料ボリュームの一以上の値を格納する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

既知の平均エネルギーを有する機知の X 線束を用いて、X 線発生装置と X 線検出器画素要素との間の X 線経路に何もオブジェクトを置かずに、X 線システムを作動させる X 線システムの校正動作により、直接変換 X 線材料ボリュームの一以上の値が決定される、

請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

光子エネルギーを決定する前に、ゆっくり変化する永久電流を補正する、ベースライン回復を利用することにより、ゆっくり変化する永久電流に対して、決定される光子エネルギーを補正するステップをさらに有する、請求項 1 乃至 3 いずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

X 線画像情報の画像補正装置であって、

画像化するオブジェクトの、受け取った読み出し情報を記憶する記憶要素と、

補正された光子エネルギーを含む補正された読み出し情報を生成する処理要素とを有し

、

請求項 1 乃至 4 いずれか一項に記載の方法を実行するように構成されている、装置。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の装置を有する X 線システム。

【請求項 7】

X 線システム及び CT システムのうち一方における請求項 5 に記載の装置の使用。

【請求項 8】

プロセッサにより実行されたとき、請求項 1 乃至 4 いずれか一項に記載の方法を実行するように構成された、X 線画像情報の画像補正をするコンピュータプログラムが記憶された非一時的コンピュータ読み取り可能媒体。

【請求項 9】

プロセッサにより実行されたとき、請求項 1 乃至 4 いずれか一項に記載の方法を実行するように構成された、X 線画像情報の画像補正をするプログラム要素。